

(1) 京都中部総合医療センター看護専門学校 ワークショップの概要

持続可能な南丹市を創造するため、こども・若者・子育て世代の意見を取り入れるプロセスを通して当事者意識を高め、これからの南丹市をつくる市民を育むことを目的にワークショップを開催しました。

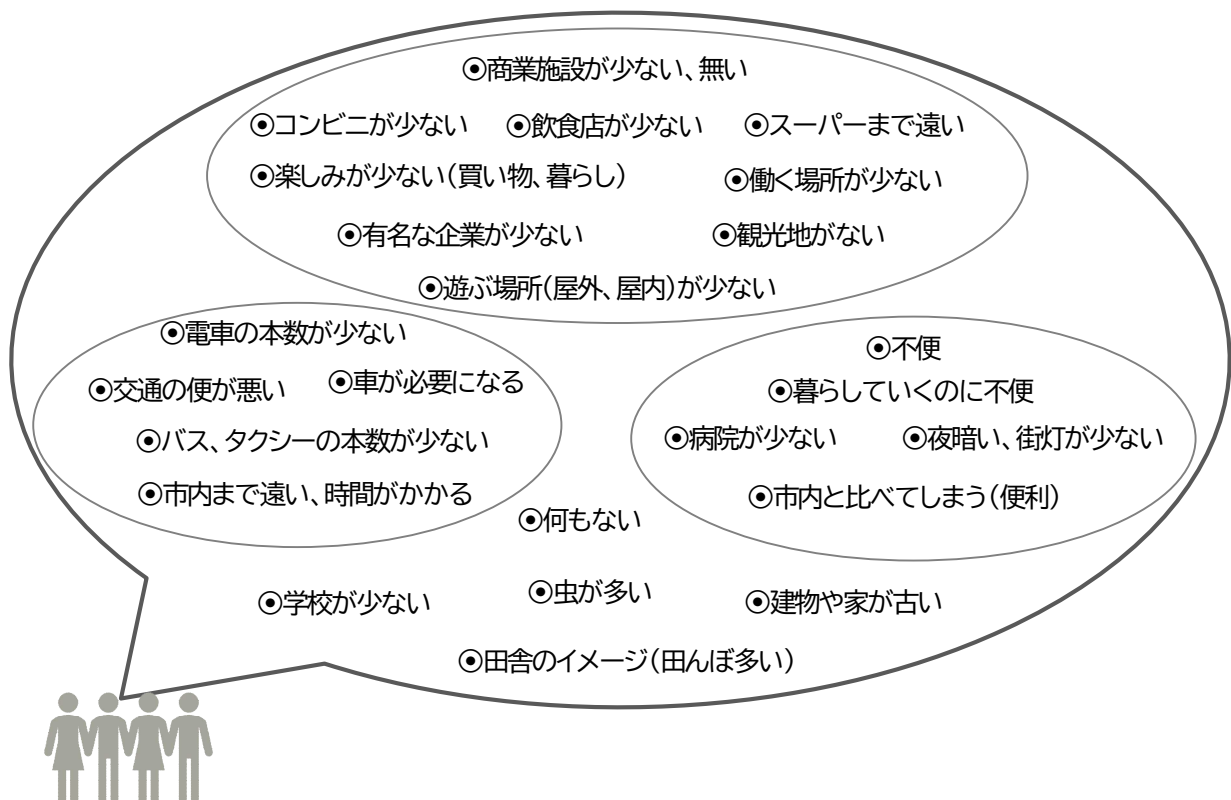
■開催概要

日程	令和6年7月5日(火)
場 所	南丹市役所4号庁舎2階会議室
テーマ	①南丹市から若者が出ていくのはなぜだろう？(魅力あるまちづくりとは) ②なぜ子育ては大変というイメージがつくのだろう？(子育て環境について)
対 象	京都中部総合医療センター看護専門学校2年生 40名
共 催	・京都中部総合医療センター看護専門学校 ・NPO 法人グローアップ ・南丹市教育委員会こども家庭センターこども家庭課

■なぜ南丹市から出るのか？

○交通の便が悪い、商業施設や遊び場が少ないなど、マイナスイメージが多い。
○利便性やにぎやかさなどが基本的に求められている。

※◎は複数意見のあったもの



<その他>

【インフラ・交通に関する不満】

・JR の料金が安い ・JR 線がよく止まる ・国道が狭い ・駅が少ない

【生活環境の不便さ】

・人が少ない ・住みにくいイメージ

・近所付き合い、集会の頻度が多い(地域行事や飲み会の影響で若者が出ていく)

・道が近いお店が多い ・気軽に行ける場所がない ・実用品が揃わない ・ゴミ袋が高い

・家賃が高い ・土地が意外と高い ・危険が多い(溝、車など)

【施設・設備】

・公園でボールが使えない ・公園がない ・トイレが汚い

【住民構成・人口】

・高齢者がどの地域よりも多いイメージ ・若い人が少ない

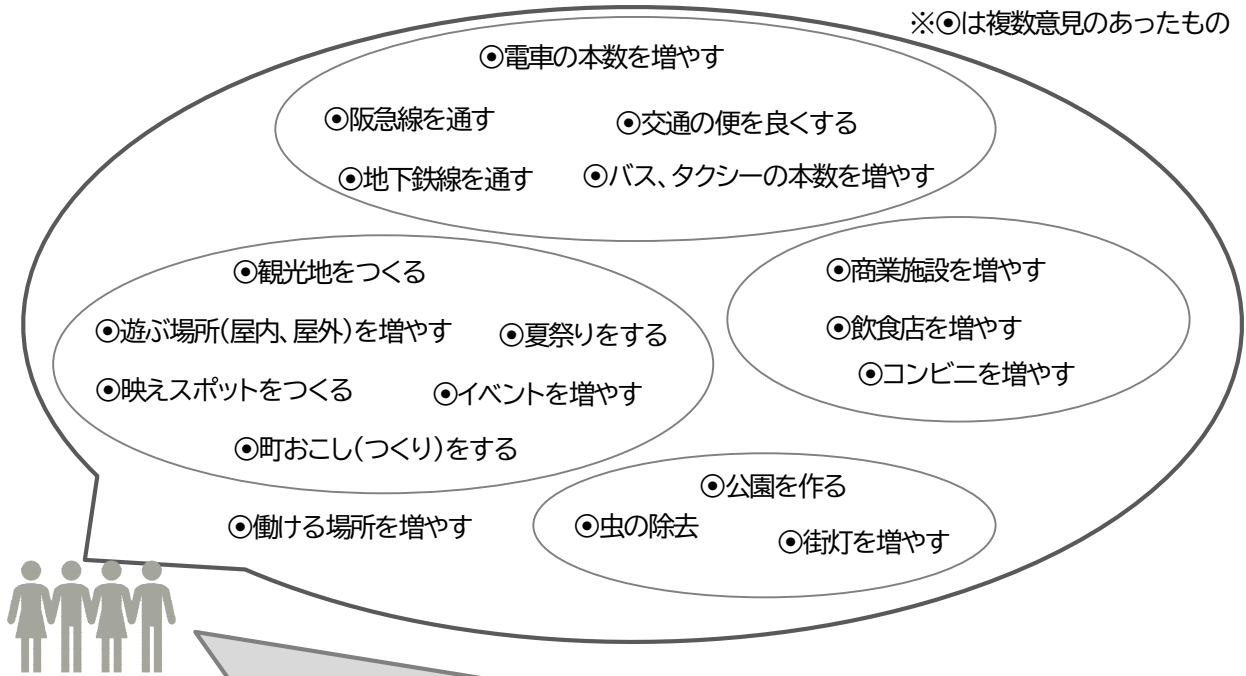
【魅力・外見に関するイメージ】

・魚がおいしくない ・キラキラしていない(橋) ・知名度がない ・オシャレじゃない、映えない

・夜が静かすぎる

■どうすればいいのか？

○南丹市のマイナス面をどう改善すればいいかについては、交通の利便性や商業施設等の増加が多く挙げられている。



<その他>

【インフラ整備】

- ・道を広げる、道の整備をする ・南丹市～京都駅まで電車で 20 分 ・病院を増やす
- ・どの駅を降りても商業施設があるようにする ・駅近に商業施設を造る ・車のレンタルをする
- ・マンション、家を増やして学校を増やす ・学校を増やす

【商業・観光施設の拡充】

- ・商店街を作る ・駅近に商業施設を造る ・オシャレなお店を作る ・魅力的な場所をつくる
- ・広い土地を活かした施設をつくる ・大きな図書館を建てる
- ・道の駅でトリックアート展があれば楽しい ・徒歩で行ける遊び場等を増やす
- ・半導体バブルで町を活性化 ・色んな企画やサービスを作る ・自然豊かなキャンプ場を増やす
- ・畑を利用して華やかで大きな花畑を作る ・人が集まる場所を増やす ・魅力的な場所をつくる
- ・ゴミ袋を安くする

【地域活性化・PR】

- ・南丹市の良い所を PR する→例:美山牛乳 ・若者に必要とされる施設をつくる
- ・半導体バブルで町を活性化 ・カッコいい人を呼んでくる ・芸能人を呼ぶ ・改名 ・京都市を近づける

【福祉・教育支援】

- ・若者の助成金をつくる(子育て) ・高校の学費の無償化
- ・子どもを短時間で何時でも預けられる場所を作る ・子どもと一緒にストレスなく行ける場所がある
- ・お金をかけず気軽に行ける場所がある ・若者に必要とされる施設をつくる

【自然・環境整備】

- ・草木を減らす ・畑を利用して華やかで大きな花畑を作る ・危険を減らし、外に出ても不安がない

【その他】

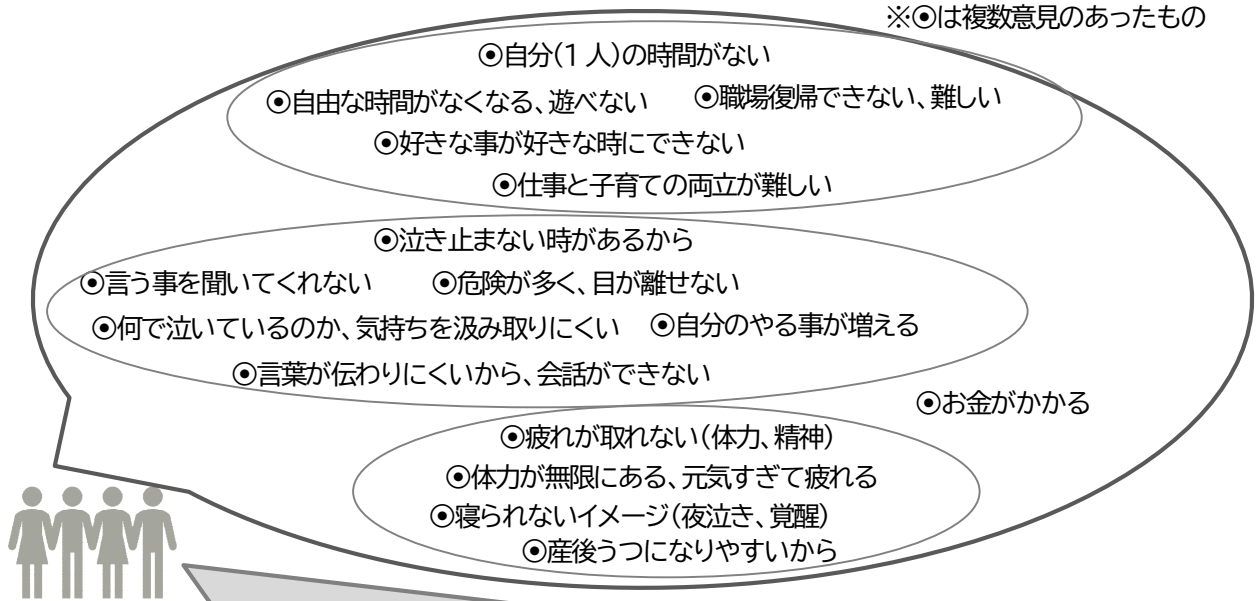
- ・交通費を安くする ・無料で車をもらう ・地元の畑で採れた作物で売れる食べ物を作る

■なぜ「子育て」は大変というイメージがつくのか

○なぜ「子育て」は大変というイメージなのかについては、子育てにかかるお金と時間についての指摘が多い。

○その他では、子育ての難しさについての話題も多く、「産後うつになりやすい」「感情への対応が難しい」「夫婦の育児の方針のすれ違い」など子育てにまつわる様々な困難情報が広く認識されている様子がうかがえる。

※◎は複数意見のあったもの



<その他>

【経済的負担】

・お金がない ・経済的な大変さ ・貯金がない、お金の不安 ・自己満以外の出費が多い
・お世話が大変なうえ、お金と成長するまでに長い時間がかかるから ・経済的にも大変

【自由・時間の制約】

・子どもの事が優先的になる ・リフレッシュできるタイミングが少なくなるから ・全てが面倒臭い
・余裕がなく、自分だけで精一杯 ・数分毎に手を取られて、家事や自分の事が何もできない
・仕事を休まないといけない ・出かけるとき荷物が多い

【肉体的・精神的負担】

・自分の余裕がなくなる ・感情への対応が難しい ・成長と共に食事作りが大変 ・晩婚化からの高齢出産
・怒る事が増える ・親が大変そうな顔をしているから ・育てるのも大変だけど、産むのも大変

【子育て・教育における悩み】

・子どもにも個性があり、子育てに正解がないから ・反抗期への対応が難しい ・あやし方が難しい
・子どもを1人の人間として育てないといけないから ・教育や礼儀を身に付けさせないといけない
・何歳になっても手がかかる ・周りに遅れないように教育や礼儀を身に付けさせないといけないため

【サポート不足・孤立感】

・相談できる場所、人が少ない ・集える場所が少ない ・子育て世帯への必要な情報が少ない
・支援が表に出ておらず、出産後のイメージができない ・誰も手伝ってくれない、ワンオペ育児
・お父さん、お母さんの分担が難しい ・育休が取りづらい

【社会的なプレッシャー・イメージ】

・子育てをしているママに寄り添うために、TV や SNS で子育ての文句を取り上げているから、子育てをしていない人に辛いイメージがつく為
・子育ての幸せな瞬間はささやかな事とか、人から見えない事も多いかもしれないから、大変そうにしている場面が印象に残る
・お姉ちゃんの子育てが大変そうだから ・子どもを出産した人が大変と言っているから

【家族・夫婦関係の課題】

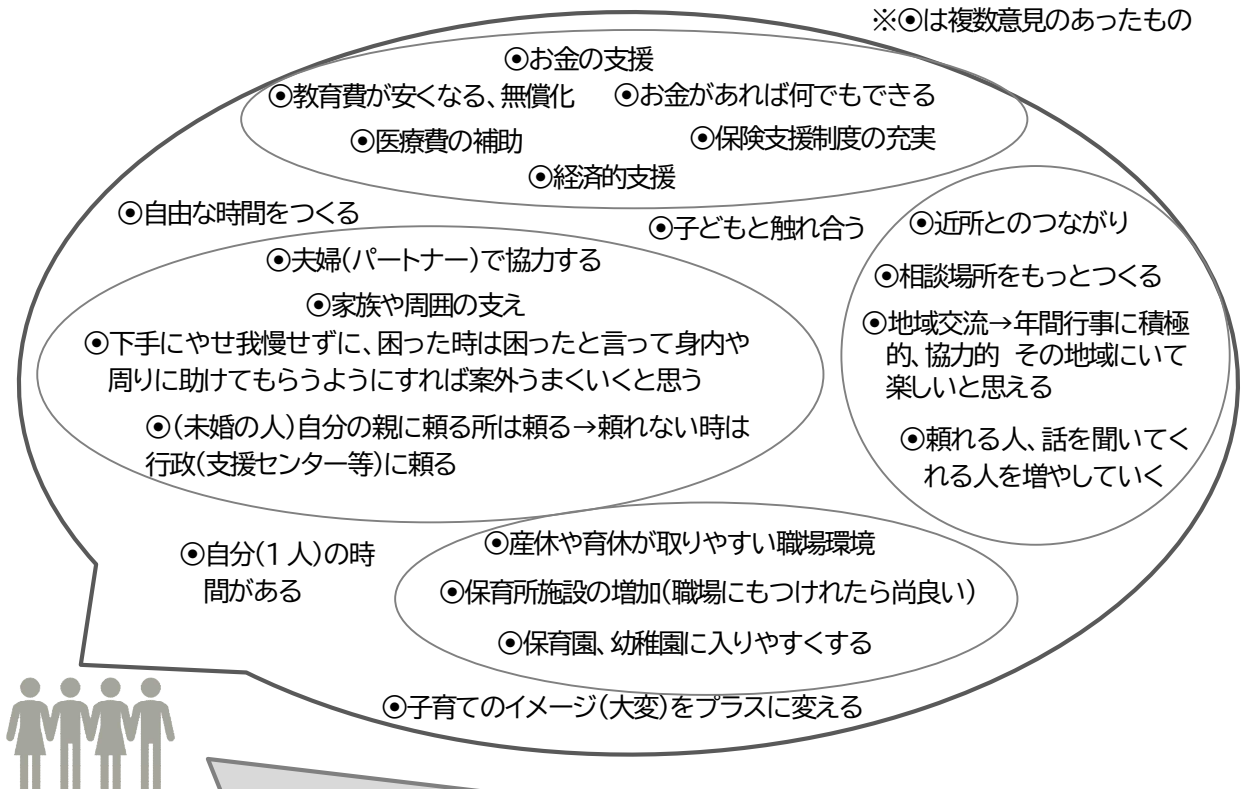
・旦那との喧嘩のタネになる ・夫婦の育児の方針のすれ違い ・お父さん、お母さんの分担が難しい

【キャリア・仕事への影響】

・仕事ができないから周り比べてしまう ・仕事を優先したい人が増えた ・ちゃんとした仕事に就けない

■どうすれば「子育て」は大変というイメージがなくなるか

- 最も目立つのは経済的な支援で、教育費や医療費などの金銭的な援助についての意見が多い。
- その他では、「家族や周囲の支え」「産休や育休が取りやすい職場環境」「子育て支援を強くする」など労力の負担軽減についての意見もある。



<その他>

【経済的支援・負担軽減】

- ・出産したら 200 万円、誕生日を迎える度に 50 万円、小学校入学→ランドセル、中学高校入学→制服、大学入学→1,000 万円支給する・税金を安くしてほしい・全てにおいてお金が安くなればいい・小学校～大学生まで何かしらの補助(お金)
- ・母子、父子家庭になっても十分に暮らせるくらいの補助・子育てしている人が集える場所・移住支援
- ・給付型の子育て支援をつくる

【仕事と子育ての両立支援】

- ・仕事と子育てを両立できる環境をつくる・仕事の休みが取りやすい環境をつくる・子どもが熱出した時にすぐに帰れる
- ・家に帰りやすい職場・父親も休みが取りやすい職場・子育て支援を強くする・預けられる施設を増やす
- ・仕事も子育てでもできるような制度にする

【育児環境の整備・サポート】

- ・お金と時間があり、手助けしてくれる家族や制度が気軽に利用できる
- ・自分が大変な時にサポートしてくれる人や制度が沢山あったら安心できる環境づくり
- ・カウンセリングを受けられる窓口をつくる・子育てをしている人が集える場所・ストレス解消の場をつくる
- ・子どもを預けられる場所を増やす(看護師常駐)

【子育てのポジティブなイメージの醸成】

- ・デメリットではなく、メリットがみえる・子育てのイメージ(大変)をプラスに変える
- ・支援がたくさんある事を知ってもらう・子どもとの楽しい思い出を振り返れるホームビデオを撮っておく
- ・子どもの笑顔を大切にすること・子どもの癒しの動画を見る・子育ての幸せな瞬間が伝わるようにする

【教育・福祉の充実】

- ・学校で子どもの成長過程を教える・自給自足・子ども食堂をつくる・子どもクリニックなど専門病院が多くある
- ・小さい子どもと関われる機会をつくって可愛さを知る・ボランティア活動・虐待を減らす
- ・親がたくさん休める場所をつくる・近所のおばちゃんに話しに行けるような役所のサポート
- ・親参加の学校行事を減らす・公共の場で泣いたりする事は子どもにとって必要な事だと理解する
- ・公共交通機関で赤ちゃんが泣いていても怒らないでほしい・地域社会が子育てを理解する

【社会的な意識改革】

- ・大変を大変と感ぜない事・周りの人を大切にする・子どもを1人の人間として育てる大切さを理解する
- ・お母さんに子育てについて話を聞く

【その他】

- ・父親主体の育児が当たり前になる・赤ちゃんの気持ちがわかる機械をつくる
- ・赤ちゃんが泣かないベッドをつくる→泣いたら揺れる・お酒を飲みに行く

